



長田区の木 はなみずき



発行：長田区医療介護サポートセンター
神戸市長田区松野通1丁目2-1 長田区医師会内
TEL：641-5661 FAX：641-5662

緊急事態宣言が発令されている状況の中、日々、ありがとうございます。
今回のながサポ通信では今年度実施した研修会の報告をいたします。

令和2年9月～11月実施研修報告



9月10日実施 長田消防署と多職種連携研修会

開催日：令和2年9月10日（木）13：30～16：30

開催場所：神戸市防災コミュニティセンター 多目的ホール

講演：「With コロナ時代における高齢者の救急対応について
～救急搬送の現状と多職種の役割について～」

講師：長田消防署 救急隊員

参加者：36名



【参加者アンケートより】

- ・新型コロナウイルス感染症の現状を理解したうえで心肺蘇生法についての理解が深まった
- ・事例を通しての話し合いはお互いの役割を知る機会にもなるので、今日のような会を行ってほしいです。
- ・消防署として地域との連携、広報活動などをもっと知りたいと思います。
- ・定期的に救急研修を行ってほしい。新しい情報等があれば知りたい。



研修を通して救急隊員の皆様と顔の見える関係づくりを行える機会となりました。
また、新型コロナウイルス感染症を踏まえた心肺蘇生法について学ぶことができました。
今後も消防署との研修は継続していきたいと思います。

9月17日実施 ながサポクラブ「認知症家族介護者支援について」



開催日：令和2年9月17日（木）14：00～16：00

開催場所：長田区役所 7階 大会議室

講演：「家族からみた認知症ケア」

講師：しおかぜメモリークリニック 院長 南 辰也先生

参加者：49名



【参加者アンケートより】※講義を聞いて今後活かせると感じた点について

- ・医師の先生が患者さんに寄り添っていることを理解し、医師への質問の方法や精神科訪問看護の頼みかた。
- ・認知症の方の目線に合わせたかわり。家族にわかりやすく、進行についての説明を行うことの必要性。
- ・認知症の方、家族の方と接するうえで、納得感が大切だということは特に勉強になった。



今回の研修を受け、今後の支援に活かせると感じた点として、「認知症の方、それぞれの症状についてその人の背景や内服状況などを理解し関わっていく。」「ユマニチュードの活用」「認知症を理解しゆっくり時間をかけていく。」などの多数の回答があり、医療職を含め他職種と連携を図りながら、認知症の方やご家族を支援していくことの重要性を理解する機会となったと思います。

10月8日実施 第12回長田区在宅医療塾 「呼吸器疾患とその対応方法について」



開催日：令和2年10月8日（木）14：00～16：00

開催場所：神戸市立 長田文化センター大会議室

講演：「呼吸器のコモンディーズ COPDを中心に」

講師：神戸市立医療センター西市民病院
呼吸器内科 医長 金子 正博 先生

講演：「呼吸リハビリテーション～COPD患者のセルフケアを支えるポイント～」

講師：神戸市立医療センター西市民病院 慢性呼吸器疾患認定看護師 田中 小巻 氏

参加者：56名

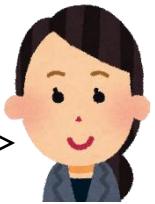


【参加者アンケートより】

- COPDから身体活動性の低下、食欲低下などによるフレイルや依存症の悪化につながる関連性についてよく理解ができました。
- COPDの基礎知識だけでなく、実際に行う呼吸リハビリテーションなど普段から行える手技についても知ることができ勉強になった。
- 具体的にどういう時に呼吸がしんどくなるのかわかり、環境の整備などしていきたいと思った。
- 吸入薬の実際にあった操作エラーの例や、吸入できていない理由で自分が出会ったことのない例もあり参考になりました。



疾患の理解と在宅でのセルフマネジメント教育についての講義の中で、日常生活で息切れしやすい動作を具体的にお話いただきました。また、息切れを我慢していたり、息切れの自覚が乏しい方へのアプローチを絵や写真を使って説明をしていただき、参加者からも具体的でわかりやすく、日々の利用者の方への支援で活していきたいという意見が多く聞かれました。



10月19日実施 あかほの会 「様々な事例をもとに精神疾患の方への対応を学ぼう！」

開催日：令和2年10月19日（木）14：00～16：00

開催場所：長田区役所 6階 多目的室

講演：「精神障がいの人を知る ～支援の困ったを考える～」

講師：ういるけあ訪問看護ステーション 管理者・精神科認定看護師 松井 知賀子 氏

参加者：60名

【参加者アンケートより】

- リフレーミング辞書は参考になった
- 資料含め説明もわかりやすかった
- スタッフ間でも共有したい
- 質問はできなかったが、フロアでの質疑で学びが深まった
- 支援をしてよくなった事例や、戻ってしまった事例など聞きたい



治療につながらないのは、本人にとってメリットがない、嫌なことしかないのであるため、まずは本人に病名を知ってもらい病識を持ってもらうこと。それとともに、病気がよくなることだけではなく、病状が回復してからの生活を考えることが重要であることを改めて学ぶことができました。

また、考え方をリフレーミングすることで、出来ているところ、良いところに着目した「応援」や「支援」に転換でき、チーム間の雰囲気よくなり垣根が低くなる、チーム力が上がるとのことです。今後の連携に活かしていけるのではないかと思います。

あんしんすこやかセンターの看護師・保健師の皆様のご紹介もあり、日々の連携にもつながる会となりました。



11月7日実施 長田区認知症多職種連携研究会（WEB研修） ～コロナ禍での影響と今後の支援について考える～



開催日：令和2年11月7日（土）18：30～19：30

講演：「新型コロナ対策としての面会禁止が認知症入院患者に及ぼした影響」

講師：医療社団法人 秀英会 神戸朝日訪問看護ステーション 金本 文子 氏

講演：「コロナ禍以降のあんしんすこやかセンターの状況について」

講師：池田宮川あんしんすこやかセンター 管理者 植野 礼子 氏

講演：「新型コロナウイルス感染症流行期における介護サービス事業所アンケート結果報告」

報告者：長田区医療介護支援センター コーディネーター 森口 春美

参加者：30名

【参加者アンケートより】

- ・（面会禁止が認知症入院患者に及ぼした影響について）推測で影響はあると思っていましたが、現場の声として数値化されたのは参考になりました。ユマニチュードの有用性も知ることができ、勉強になりました。
- ・問題があっても何とかうまく生活ができていた方が、コロナをきっかけに悪化し、その支援に苦慮されていることが事例紹介によりわかりやすく理解が進みました。
- ・アンケート結果から対応策を考えサポートセンターで実施されていることの多さに驚きました。しかも短期間で。
- ・介護サービス事業所の抱えている課題がよくわかりました。



ZOOMでの研修は初開催でしたが、大きなトラブルもなく実施でき、参加者からの質疑応答もチャットを使用し、意見交換も十分に行えました。
新型コロナウイルス感染症への対策を取りながら認知症の方々への日々の支援について参加者で共有し、今後の対策や連携について考える機会となり良かったと思います。
長期化が予想される対策の中で活かしていきたいと思います。



11月26日実施 ながサポクラブ 「長田区多職種連携について考えよう！（看取り）」

開催日：令和2年11月26日（木）14：00～16：00

開催場所：神戸市防災コミュニティセンター 多目的ホール

講演：「看取りについて」

講師：神戸医療生協協同組合 神戸協同病院 緩和ケア病棟 師長 藤堂 知子 氏

参加者：63名



【参加者アンケートより】

- ・心あたかな体験談とても良かったです。常に利用者に寄り添う姿勢に感動しました。これからも大変ですが、長田区唯一の緩和ケア病棟として利用者のために頑張ってください。
- （ガン末期や看取りの方への支援の際に苦慮されていること）
- ・本人の思いが聞き取りにくい。どうしても家族からの伝達となる。
- ・苦慮というよりCMにもグリーフケアがほしいと思いました
- ・未告知（一部の家族に未告知）の対応



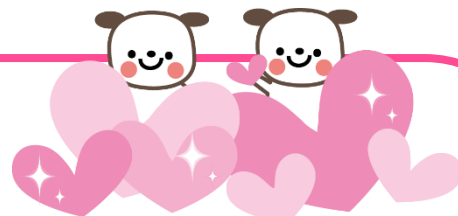
コロナ禍での集型の研修であったが、テーマへの関心が高く、63名の方にご出席いただいた。コロナ禍で、面会や退院時のカンファレンス等が行いにくい状況で、ご本人の意向を汲み取りながら支援していくことの難しさを感じておられる人が多くみられた。

今回の講義で緩和ケア病棟での具体的な活動を知ることができ、ご本人やご家族に寄り添いながらケアが行われていることを必要時はご本人やご家族に、今後伝えていける機会となったと思います。また、在宅の支援者と病棟との連携を図っていく機会にもなりました。

講義の聞く中で藤堂看護師長の想いに参加者が涙する場面も見られました。



【研修会開催のお知らせ】



※ながサポクラブ・長田区ケアマネジャー連絡会※

開催日：令和3年3月18日（木）14：00～16：00

開催場所：神戸市防災コミュニティセンター 多目的ホール

テーマ：「褥瘡と低栄養について」

講師（予定）：皮膚排泄ケア認定看護師、管理栄養士

詳細については後日、案内文をお送りいたします
ぜひ日程を空けておいてください！！



【長田区医療介護サポートセンターより】

長田区医療介護サポートセンターでは、新型コロナウイルス感染症に関する情報をFAX
させていただきます。

送らせていただいたFAXの内容で不明な点などございましたら、長田区医療介護サポートセ
ンターまでご連絡ください。また、どこに相談すればいいかわからない等の際にも気軽にサポ
ートセンターをご活用ください。

長田区医療介護サポートセンター TEL：641-5661

開所時間：月～金曜日 9時～17時（土日祝休み）

【一人で悩んでいませんか？】



感染症対応や、感染に対する不安を抱え、こころと身体に大きなストレスを受けつつ業務に
従事されていることと思います。

気持ちを誰かに話したり相談したりすることで、つらさや不安がやわらぐことがあります。
ひとりで抱え込まずに下記にご相談ください。

医療従事者・社会福祉施設従事者等へのこころの相談ダイヤル

TEL：078-322-5273

月～金午後3時30分～午後8時（祝祭日・年末年始除く）



【編集後記】

新型コロナウイルス感染症が日本にはいつまで経っても早くも1年が経ちます。
この1年、医療介護従事者の皆様は日々感染対策を講じ、ストレスがずっと
かかっている状況だと思います。そのような状況の中、頑張ってくださいている
皆様に心から感謝申し上げます。
（長谷川・森口）

